

へいせい ねん がつ にち
平成25年7月15日

ほ ごしや みなさま
保護者の皆様

に ほんじんがっこうちょう おき た かずなが
ヤンゴン日本人学校 長 置田 和永

ヤンゴン日本人学校 教育活動のアンケート結果について(児童・生徒の部)

お陰様で大きな事件も事故もなく、無事1学期を閉じようとしています。今年度は新しい学校運営委員会の下で、懸案の校舎建設やスクールバスの民営化に向けて、新しい流れをスタートすることができました。つつがなく終業式を迎えられるのも、ひとえに保護者の皆様方を始め、関係各位のご支援の賜と職員一同心より感謝申し上げます。

いよいよ7月19日(殉職者の日)から8月21日までの34日間が、子どもたちにとっての夏休みです。学校を離れて、各ご家庭で夏休みならではの体験をして、大きく成長し、また元気に2学期を迎えてくれるものと期待しています。

とは言ってもすでにご連絡していますように、ずっと家庭にこもるようなことがないように、学校開放の日として夏休み中は21日学校を開いております。午前9時から午後4時までです。必ず一人以上の日本人教員が職員室にいます。お子さんの学習や生活のことでご相談のある方は、あらかじめご連絡いただければ、できるだけ対応できるようにします。開校時間は午前の部は午前9時～午前12時(この時間帯、図書室の本は日直等の先生の許可で自由に借りられます)午後の部は2時から4時の時間帯です。ただし、午後の部には保護者の同伴が必要です。また、登校しましたら必ず職員室に顔を出し、日直等の先生に来校を伝え、学校開放利用ノート(職員室前の廊下の机上)に学年・名前・登校時間を記入します。また退校時にも職員室にいる日直等の先生に一声かけて、ノートに退校時間等を記入して下校してください。

しかし、決して外地であることを忘れてはいけません。登校途中での交通事故・不審者との遭遇・突然の雷雨等、どんなことが起きるかわかりません。夏休みという自由な雰囲気の中で、やはり事件や事故に巻き込まれる可能性がたいへん高くなります。子どもたちの安全第一でいきます。来校するときは必ず保護者の皆様の許可はもちろんのこと、学校開放時間中は保護者の責任の下でよろしく願います。また、学校など公共物の正しい使い方やルール(上記下線部)等をご家庭でも必ず話題にしておいてください。

さて前置きが長くなりましたが、ヤンゴン日本人学校では、今年度も学校評価のひとつとして、1学期に児童・生徒に本校の教育活動のアンケートを取りました。また2学期には保護者の皆様を対象としたアンケートを取り考察し公表して、次学期や来年度の学校改善や学級経営に生かしていきたいと思っております。

一学期間、ご支援ご協力ありがとうございました。2学期もよろしく願います。

<評価基準>

A:「よくあてはまる」100点

B:「ややあてはまる」75点

C:「あまりあてはまらない」25点

D:「まったくあてはまらない」0点

<子どもの学校評価アンケート結果からの考察>

日本の学校で同じようなアンケートを取ると、アメリカや中国に比べて自己肯定感が低い日本の子どもたちの姿がいつも浮き彫りにされてきます。しかし、本校では、多くの子が自己実現を図り、自己肯定感が高くなっていきます。また、昨年度より子どもたちが急増し、切磋琢磨する姿が多く見られるようになりました。本校の特色として子どもたち一人一人が活躍し認められる場も多く、小規模校ならではの自己存在感の大きさがあります。

全体的には、特に読書や体力作りに関心のある子が増えています。静と動のバランスの中で、特に新しい仲間もどんどん加わり、生き生きと生活している様子が数字になって現れているようです。しかし、課題も残っています。低学年はまだ自己評価もおぼつかないの、今回は小5～中3までの各アンケート項目を中心に簡単に考察したいと思います。

- 1 ヤンゴン日本人学校は明るい雰囲気があり、毎日登校するのが楽しい。 86ポイント
特に低学年は高い評価をしています。学校は楽しいと感じている子が多く、ずっと学校で生活したい、このままの学級が日本にあるといい、という感想も聞けます。
- 2 友達や両親など身近に自分の悩みについて相談する人がいる。 74ポイント
中には周りになかなか相談相手がない子どもたちもいます。担任の出番です。時々子どもに心のアンケートを取りながら、個々に教育相談をしていきたいと思えます。
- 3 先生達は分かるように工夫して勉強を教えてくれている。 86ポイント
わかる授業からできる授業へとどの先生も目指しています。学力の向上は保護者のいちばんの関心事です。学校では、自学自習できる子を目指して、課題解決型の学習にも取り組んでいます。今年度は職員間でも家庭学習についても話し合っています。
- 4 道徳の時間はみんなの気持ちが分かり、頑張る気持ちがわいてくる。 79ポイント
学校で道徳を学んだからといってすぐには効果は現れません。常に前向きに、自分でもできそうだと、今の自分ならできるかも、という自己肯定感を育てていきたいと思っています。
- 5 どんな時も仲間はすれやいじめをしないよう心がけている。 82ポイント
日本の学校では、いじめが起きる確率は高いですが、本校では縦割りの活動の中で、自然と弱い立場にある子に対して、思いやりの心が芽生えていっているようです。本人がいじめと感じる事例は少ないですが、日頃から職員間でも人権教育を意識していきたいと話題に出しています。保護者の皆様も長い目で見守ってください。
- 6 学級でみんなで話し合って決めた約束は、しっかり守っている。 74ポイント
少し低いポイントになっています。本校は2学期には在籍数百人を超えます。これからは規律ある学校を目指していかなければなりません。特にみんなで決めた約束や社会的ルールに対しては、守り切っていくような学級経営・学校経営を目指していきます。

7 自分から進んで友達やお世話になってる人に挨拶ができる。 80ポイント

グローバル社会では共に生きていく心が問われています。周りの人に思いやりの表現をする第一歩は挨拶からです。挨拶によってお世話になっている人に目を向けさせ、常に感謝する心を育てていきたいと願っています。

8 掃除の仕方が分かり、進んでもくもくと掃除に取り組んでいる。 77ポイント

当地で生活する子どもたちは、日常的に身の回りの世話をしていただける人に恵まれています。ということもあり、なかなか自分の身の回りの整理整頓や公共物を大切にする習慣が身に付きにくい傾向にあります。奉仕する態度を育てる意味においても今年度からは奉仕名人として、子どもたちのいい姿を終業式等で全校に広め、自分からボランティア活動に参加していく温かい心を育んでいきます。

9 「さっと注目姿勢ピン」どこでもしっかりと話を聴いている。 63ポイント

聴き名人を目指して頑張っています。まだ集会の時以外では十分に定着はしていませんが、聞く姿勢は学習活動の第一歩です。2学期からいろいろな機会で開催していきます。そのためには、教師も保護者の皆さんも聞き上手になることが大切です。

10 つなぎ発言などをして、わけ・理由・根拠のある発言ができる。 71ポイント

本校では1年生でも自分の発言には訳や理由を付け足して話すようにしています。話す力は自己表現には欠かせません。国際人として自分の意見を堂々と伝える力の育成は、本校の課題の一つです。「話す力」の育成については、職員間でも話し合いを進めています。

11 図書館を積極的に利用し、お家でもよく読書に心がけている。 81ポイント

読書名人が多いのは本校の特色です。夏休みの平日は午前中9時～12時まで図書館は開館しています。素晴らしい本との出会いをたくさんしてくれることを願っています。

12 遊びやスポーツなど、友達となかよく体力づくりに励んでいる。 81ポイント

休み時間や放課後、どの子も学年を越えて遊んだり、チャレンジタイムで練習した運動を続けて頑張ったり等、昨年度より運動をしているたくましい様子が多く見られます。日本の学校の子に比べて、負けず嫌いの子が多くたくましさを感じる一方で、フェアプレー精神も育てていく必要も感じています。

13 下級生に気配りをして、いつも安全に気をつけて生活している。 73ポイント

ポイント数は少ないですが、休み時間小学生と中学生が一緒になって、ドッジボールやサッカーをしています。よく見ていると中学生が手加減をして仲よく楽しい雰囲気を作ってくれています。兄弟姉妹どうして助け合う場面もよく目にします。

14 毎日、進んで宿題や調べ学習など家庭学習にも取り組んでいる。 69ポイント

家庭学習については、その習慣化に向けて学校側でも働きかけをしていますが、まだ定着には至っていません。特に夏休み中、家庭でマンマ語中心の生活をしている子どもたちにとっては、日本語離れしてしまうことにもなります。ですので夏休み中も友達も誘いながら是非学校を活用してくれることを願っています。現在、学年ごとに系統的な家庭学習になっていくよう教員間でも話し合っています。

15 お家では、早寝・早起き・朝ご飯など生活習慣に気を付けている。 65ポイント

子どもたちの自己評価がいちばん低いのが、この項目です。数字に表れているように家庭生活のリズムが取れず、中には寝不足で登校する子どもも少なくありません。朝ご飯をしっかりと食べてくることによって、午前中に脳の活性化が図られ集中力が増し、効率的に学習できるようにもなります。基本的な生活習慣は、学力の向上とも密接にかかわっていきます。

今回は、この子どもたちのアンケートの下部に友達の「かがやき見つけ」を入れました。普段の学校生活で気づいた友達の素晴らしさの中で、特に今回は奉仕名人として、掃除時間や係り活動・委員会活等で輝いていた友達の良いところを子どもたちに紹介してもらいました。驚いたのは、下級生が上級生の素敵などところをしっかりと見ていて、学年を越えて紹介をしてくれたことです。そして上級生の素晴らしさはあこがれとなって、下級生のこれからの生き方にも影響を与えていることが分かりました。また、上級生も自分にはない「かがやき」を下級生に見つけていました。その一部を紹介します。

- 小3黒木優里さん→ 低学年が使っていた一輪車を自分から進んで整理してすごいです。(中2中村美咲より)
- 小5虫本大己君→ いつも放送かかかったらすぐに掃除を始めてすごいです。(中3濱崎帆風より)
- 小6増田勇飛君→ 委員会等いつも責任感を持って自分の仕事をしている。(中3中矢瑛介・中2中村禅より)
- 小6小澤智史君→ いつでも誰にでも自分から先に笑顔で挨拶している。(小4松下天遂・小5虫本大己より)
- 中1高橋慶伍君→ 自分からみんなにいつも気持ちのいい挨拶をして輝いています。(小4中矢陽太より)
- 中2濱崎光河君→ 責任感が強く、自分が分からないことがあると優しく教えてくれる。(小5摺澤健一より)
- 中2中村美咲さん→ 委員会やチルフエスのブースなど、積極的に動き輝いている。(小6松野紗七奏より)
- 中2中村 禅君→ 自分から積極的にリーダーシップを取り、前になるようになった。(中3田中英和より)
- 中3濱崎帆風さん→ 縦割り班のリーダーとしてみんなをうまくまとめ立派です。(小4山本紗佑里さんより)
- 中3中矢瑛介君→ 委員会活動等、いつでも責任もってやり遂げている。(小5宮林裕夢・小6市原有悟より)

7/18の終業式では、どの子どもも表彰したいところですが、このアンケート結果や先生方の推薦も入れて、全校で2名にしばって今回は奉仕名人として表彰し、全校に広めていきたいと思えます。教師が子どもたち一人一人を認め、肯定的に評価することで、子どもたちの中に物事を肯定的とらえる見方・考え方が広がっていくものです。

「やってみせ、言って聴かせて、させてみて、ほめてあげれば、子どもは育つ」ですね。これは山本五十六さんからいただいた格言です。まさに家庭教育も同じだと思います。

夏休み中、何かお子さんのことで気になることがありましたら、学校の方へご相談・ご連絡ください。平日は日直がいますので、一報入ってから教育相談としてご利用ください。